9月はがん征圧月間

日本対がん協会 2015年度 がん征圧スローガン れる一方で、早期発見と適切な早期治療で9割が治るとされています。

9月は「がん征圧月間」です。日本人の死因トップであるがんは、今や日本人の2人に1人がかかるといわ

鳥取県でも「がん対策推進条例」を制定し、がん対策推進計画を実施するなど、がん予防と早期発見でがん による死者の減少に力を入れています。征圧月間を機会に、がん予防に関する知識を深めたり、検診を受け るなど、誰もに身近な病気であるがんと向き合って自らの健康を守りましょう。

健康が自慢のある活もか

の治療や診療を通じ た、かかりつけ医に 鳥取県でも、日頃

かるため、 をきっかけに見つ かった場合に比べ いるがんとして見つ らの検査では、すで にある程度進行して はぐっと高まりま 症状を自覚してか 死亡にいたる確 がん検診

乳がんは、自覚症状があっ

早期の場合は自覚症状がな ハケースが多く、検診を受け

ることで発見することができ

ます。こういった場合は、治

療による治癒率も高く、乳房 の傷も小さくできる可能性も

て医療機関を受診され、診断

を受ける方が半数以上です。

めのがん検診受診が何より効果的です。

うちにがんを見つけて適切な治療を受けるた

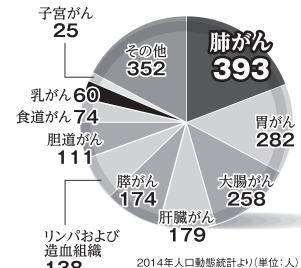
を低減させる取り組みが重要ですが、

■なにより検診が有:

がんによる死亡を防ぐには、禁煙や食生活の

し、普段の運動などを通じて発がんリスク

鳥取県がん死亡者数部位別内訳



子宮がんは25人で、少ないように感じますが全 また、女性に目を向けると、乳がんは60

鳥取県では全国で3位(人口10万 の取り組みなどにより減少傾向にありますが、 あるばかりか、前年調査からも上昇しており どの部位のがんによる死亡が多いのか、 っそうの対策が急務となっています。 がんによる死亡率は、 13年調査) 全国平均ではがん対策 八に対する年

3位の脳血管疾患67

人を大きく引き離して

死因別死亡数で2位の心疾患1

052人、

をみると、最も多いのが肺がんで393人、 大腸がん、 の高い水準で

どうすれば受けられるの?

職場でのがん検診のほか、市町村で受けられるがん検診があります。がん検診は定期的に継続して受けることが大切です。

実施するがん検診	がんの種類	検査の内容	受診の目安
	胃がん	エックス線・内視鏡による検査など	40歳以上になったら1年ごと
	大腸がん	便潜血の検査など	40歳以上になったら1年ごと
	肺がん	エックス線・喀痰細胞診の検査など	40歳以上になったら1年ごと
	子宮がん	細胞診検査など	20歳以上になったら1年ごと
	乳がん	視触診・マンモグラフィによる検査など	40歳以上になったら2年ごと

※検査内容や対象年齢など市町村によって異なります。実施日や費用についても各市町村窓口へお問い合わせください。

また、乳がん検診を受けて いるからといって安心するこ となく、次回の検診までの期

舞 理事長 切です。2年ごとの検診なので、その間の自覚症状や自己 検診をきっかけに発見される場合もあるからです。

早期発見、早期治療は治癒率が高まるばかりでなく、健



■死亡率高い鳥取県

鳥取県内のがんによる死者は年間2046

4年の厚労省人口動態統計によると、

前年の2024人と同水準で推移してお

向けて取り組んでいます。 市町村の施策を支援するなど、検診率アップに 未検診者に向けた受診の個別勧奨について